

とびうお杯 第41回全国少年少女水泳競技大会

監督者会議資料（競泳競技）

日時：令和8年7月31日（金）15：00

場所：浜松市総合水泳場 北側観覧席

（議題）

1. 競技について

- ア) 競技は2026年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- イ) バックストロークレッジを使用できる。
- ウ) 予選競技はオーバーザトップ方式で行う。次組スタート後、横退水。
背泳ぎはレース成立後、横退水。リレー種目は、自レーン退水。
決勝競技（A・B）は、レース成立後、横退水。
- エ) リレーオーダーの提出場所は、リゾリューションデスク（北側観覧席階段下）とし、開始予定時刻 **1 時間前**までを締切時刻とする。定められた時刻までに提出の無いチームは出場できない。尚、決勝競技もリレーオーダー用紙を提出すること。
- オ) フリーリレー・メドレーリレーに出場する選手は、同日のMIX競技に出場することは出来ない。
- カ) 競技の進行はタイムスケジュールより20分以上早めることはしない。
- キ) 招集の場内アナウンスは行わない。予定開始時刻および競技の進行を確認し、招集所に来る事。招集所へは南側観覧席中央階段利用のみとなります。招集所へは脱衣する衣類が全て入る袋やバックを持参し、指示された場所に整列する。
- ク) 競技は予選・決勝を行う。予選上位8名をA決勝、9～16名をB決勝とする。但し、リレー種目はA決勝のみとする。8位・16位に同タイムの選手が出た場合は、大会本部で協議する。また、MIX種目はタイムレース決勝とする。
- ケ) 予選競技を棄権する場合は、競技開始 1 時間前迄に棄権届用紙をリゾリューションデスクに提出する。決勝競技を棄権する場合は、その競技の予選終了後 1 時間以内に、棄権届用紙を審判長（大会総務室）に申し出ること。
棄権者が出た場合、補欠3名の上位者より出場させる。補欠者 3 名は、必ず決勝競技の招集点呼を受けること。
- コ) 競技はクラブ対抗戦とする。得点はA決勝1位 18点・2位 16点～8位 10点、B決勝1位 8点～8位 1点とし、同順位の場合は、同じ得点を与え次順位を空白とする。
- サ) 1位～30位の競技結果は電光表示板にて表示する。A・B決勝スタートリストのみ2階掲示板へ掲示をする。
- シ) 選手紹介アナウンスは、予選競技は組のみ、MIX競技はチーム名のみ紹介。
B決勝は各レーンにて選手名を紹介、A決勝は入場口にてチーム名・選手名の紹介をする。
- ス) スタート前の水かけは、設置された水かけ用容器で行うこと。プール水の水かけは、タッチ板の誤作動を起こす場合があるので禁止する。

- セ) 折返し及びゴールタッチはタッチ板の有効面に確実にタッチすること。ライトタッチは失格になる場合がある。
- ソ) 出場選手は、水着・キャップ・ゴーグル以外のものを着けて競技に出場することはできない。上記のもの以外（テーピング等）については、審判長の許可を得ること。

2. 表彰について

- ア) 決勝競技終了後、表彰を行う。（競技予定時間表を参照）
 - 1位～3位入賞の選手ならびリレーチーム出場者4名は、決勝競技招集所横「入賞者待機場所」にユニフォーム等を着て表彰式の準備をすること。
- イ) 各種目1位～3位には賞状・メダルを授与。4位～8位は賞状引渡所で受け取る。
 - 4位～8位の賞状は2階「賞状引き渡し場所」にて配布する。
- ウ) 団体表彰は、男女別総合優勝チームに賞状・「とびうお杯」・文部科学大臣賞、
 - 2位及び3位チームに賞状を授与する。
 - 4位～8位の賞状は2階「賞状引渡所」にて受け取る。閉会式において、優勝チーム3名、2位・3位チーム1名の代表者は入賞者待機場所に待機すること。

3. 会場使用について

- ア) 監督・コーチは、競技中にメインプールサイドへの立ち入りは出来ない。
- イ) 更衣室は更衣のみとし、荷物を置くことは出来ない。荷物は持ち歩き、設置された荷物置場に置くこと。
- ウ) 選手控え場所は指定された場所（観覧席）とする。観覧席後方スペースは荷物置き場とし、控え場所としての使用は出来ない。（敷物等は禁止）
- エ) メインプール（水深は3.0m）
 - メインプールウォーミングアップ時間は **AM7：30～AM8：45** までとする。
 - 9レーンは公式スタート練習時間まで、常時スタート練習専用レーンとする。（スタート側から一方通行）
 - 公式スタート練習は、**AM8:15～8:45** まで。（途中の横退水禁止）
- オ) サブプール（水深1.4m）
 - 使用時間は **AM7：30～競技終了後15分間**
（8:45～9:45は開会式のため使用禁止）
 - スタート練習は、指定レーンのみとする。
- カ) メインプール・サブプールともにボード、プルブイ、フィン、シュノーケル以外の器具は使用禁止とする。また、混雑状況により上記器具も使用禁止する場合がある。

4. その他

- ア) 商標ロゴマーク等の使用基準は（公財）日本水泳連盟の基準とする。
- イ) 会場内で撮影した写真・動画の扱いについては十分注意すること。
- ウ) 開会式及び閉会式の際、選手は観覧席に参列する。
- エ) 本大会の競技は、映像配信する。遠隔地でも競技の様子を見ることができる。（QRコード・URLは2次要項に掲載）
- オ) その他ご不明な点は、審判長に確認すること。